



朝一小だより

活気あふれ、心が潤い、一人一人がより良く生きる学校

Tel048-461-0052 <http://www.asakadailshou.city-asaka.ed.jp/>

学校教育目標

・考える子
・やさしい子
・たくましい子



朝霞市立朝霞第一小学校

令和7年7月1日

児童数 615名



鯛も鯛も食うた者が知る

校長 金子 二郎

梅雨入りの便りを聞いたかと思きや、にわかに盛夏さながらの猛暑となり、熱中症に気を揉み、さらに早くもこの夏の電力逼迫や水不足が心配されます。気まぐれな天候に老若男女を問わず誰もが体調も崩しかねません。保護者や地域の皆様におかれましてはすこやかにお過ごしでしょうか。また、1学期も残すところ3週間足らずとなりました。この3か月、本校の教育活動にご理解とご協力をいただいたことが、一人一人の子供たちの豊かな学びに繋がっております。まずもって、心から感謝申し上げます。



さて、もうひと月ほど前の話となって恐縮ですが、5月28、29日と6年生は修学旅行に行っていました。しっかり事前学習をした江戸時代の歴史や日光の自然景観について、実物に触れることで多くを学ぶことができ、まさに「いっしょう」の思い出の旅とすることのできた二日間でした。復路の車中では実行委員の女子が「見たり聞いたりしてみると、調べたよりも何倍も迫力があつたり、自分で感じ取

ることのできる、どんなことでも体験すると良い経験につながるということがわかりました」と素敵なまとめをしてくれました。以前、田村由美さんの漫画の主人公の「真実は何の数だけあるんですよ。でも事実一つしかない」という言葉を紹介しました。事実はもちろんですが、真実を見極めるためにも、自分自身の眼や耳で実際に確かめることの大切をこの修学旅行で体験した子供たちも少なくないかと存じます。徒然草の第52段「仁和寺にある法師」を中学生の頃、国語で習ったとご記憶の方も多いのではないのでしょうか。吉田兼好によるこの随筆では、本来の目的地である石清水八幡宮に参拝せずに、行ったつもりになってその手前で戻ってきってしまったことで、「当たり前のようなことでも、よくわかっている人に教えてもらわなければならない」と書いています。優れた先達がいかに大切にしているのたとえですが、「知ったかぶり」への戒めにも聞こえます。ネットで気軽に情報を手に入れることのできる現代、誰でも苦もなく画像や動画を通してバーチャルに学ぶことができます。しかし、実際にその場に身を置いて五感を活用して吸収できる情報量にはかないません。日光も含めた世界遺産を効率的に学ぶことのできるワールドスクウェアは、実物ではありませんがいわば「次善の策」とも言えます。「25分の1でもこんなに大きいんだから、実物はもっとすごいだろうなあ」と想像力を働かせ熱心に話してくれる男子もいました。手軽に入手した情報に安易に頼ることなく、体験を通して身体で受け止め、五感で確かめる習慣を身に付けることが、ファクトチェックを含めたリテラシーを高め、ひいては自分の身を守る力にもなると考えます。



梨の味の味が知りたいのなら、自分の手でもぎ取って食べてみなければならぬ。本物の知識というものはずべて、直接体験する中で生ずる。(毛沢東)